

《教養科目》

科目名	くらしと法律（日本国憲法）				
担当者氏名	菅野 仁紀				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		1-1 教養 2-2 知識・技能 4-4 態度・志向性			

《授業の概要》

憲法は、近代立憲主義（人権保障および権力分立）の考え方に立脚します。本講義は、憲法の統治機構（国会・内閣・裁判所等の組織と権限等）に関する基本事項および基本的人権の保障（人権総論・精神的自由権・経済的自由権等）を扱います。

日本国憲法で保障されている人権とは何か、国の政治が実際にどのように行われているのか等について、学説と重要判例、さらに近時の事件・問題等を通して学習します。

《授業の到達目標》

（１）憲法とは何か、日本国憲法とは何かを把握し、その仕組みと基本原理の理解を深め、説明できること。

（２）実際の社会問題や身近な事例を法学的かつ憲法学的な視点で考えるための心構えや知識を身につけ、それらの問題や事例に関連づけ、適用できること。

（３）これらを通して、自立・自律した市民としての批判的思考力を身につけること。

《成績評価の方法》

期末筆記試験（60%）、小テスト（20%）、レポート（20%）とし、総合的に評価します。60点以上を合格とします。

なお、欠席回数が授業を実施した回数の3分の1を超えた場合には、成績評価の対象としません。

《テキスト》

テキストは特に指定しません。授業時にレジュメを配布します。

《参考図書》

芦部信喜〔高橋和之補訂〕『憲法〔第7版〕』（岩波書店・2019）

斎藤一久・堀口悟郎編『図録 日本国憲法』（弘文堂・2018）

上田健介・尾形健・片桐直人『憲法判例50！〔第2版〕』（有斐閣・2020）

《授業時間外学習》

（１）憲法や法律に関わるニュースや身近な事例を常に意識しておくこと。（２）各授業に参加するにあたり、授業計画の学習内容欄に記載した内容を中心に、学習テーマや自分の興味関心のある問題について、参考書等を使用してまとめること（2時間程度）。（３）授業後は、レジュメを中心に学説・判例等の要旨・論点を授業ノートにまとめること（2時間程度）。

《課題に対するフィードバック等》

小テストやレポートの講評は適宜示します。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	ガイダンス 法とは何か	法・法律とは何か 「日常生活における法、法と道徳の関係、法の仕組みを考える。」
2	憲法とは何か	近代立憲主義について 「近代立憲主義と社会契約論、憲法の目的について考える。」
3	統治機構（１）	権力分立、国会・内閣について 「権力分立の意味と国会・内閣の役割について確認する。」
4	統治機構（２）	裁判所と違憲立法審査権について 「裁判所の役割と違憲立法審査権の特徴・機能について確認する。」
5	国民主権と天皇制	国民主権と象徴天皇制について 「主権について考える。また、現在の天皇制はどのような制度かを確認する。」
6	平和主義	平和主義と戦争放棄について 「憲法9条の意義について考える。また、憲法9条をめぐる議論を確認する。」
7	基本的人権の原理	基本的人権の内容とその限界について 「人権とは何かをその歴史的経緯から考える。」
8	包括的基本権	幸福追求権について 「新しい人権とはどのような権利なのか、具体的な事例を通して考える。」
9	法の下での平等	憲法における平等の意味について 「許される区別と許されない差別について、判例を通して考える。」
10	人身の自由	適正手続の保障について 「法律の定める手続とはどのような手続なのかを考える。」
11	精神的自由権（１）	思想・良心の自由について 「考える自由の意義について考える。」
12	精神的自由権（２）	信教の自由と政教分離について 「国家と宗教との関わりについて、判例を通して考える。」
13	精神的自由権（３）	表現の自由について 「表現の自由はなぜ優越的な地位を占めるのかについて、判例を通して考える。」
14	経済的自由権	職業選択の自由について 「消極目的規制と積極目的規制について、2つの判例をもとに考える。」
15	社会権・総括	生存権について・学習の振り返り 「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利の意義を考える。」

《教養科目》

科目名	情報処理				
担当者氏名	大野 譲太郎				
授業方法	実習	単位・必修	1・必修	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-1 教養 2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能				

《授業の概要》

情報化社会の進展に伴い、情報倫理や基本的な情報処理の習得は必須の教養と言える。情報倫理に関しては、情報機器を扱う際発生するリスクを理解し、一般的に施されている情報セキュリティポリシーを遵守出来るようにする。また、多岐に渡る情報処理の分野において、特に将来利用する機会が高いであろう文章処理ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを使った情報処理技術向上を目指すのが本講義の目標である。

《授業の到達目標》

情報倫理 : インターネット利用の際一般的に起こりうるトラブルを未然に防ぐ適切運用能力を身につける
文章処理 : 日本語の入力および文書処理能力を身につける(ビジネス文章作成)
表計算ソフト: 情報処理能力を身につけるとともに、コンピュータ活用能力の向上

《成績評価の方法》

授業中の課題の進捗(70%)小テスト(30%)を総合的に判断する。
また、総合評価60点以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	情報倫理	著作権、個人情報の取り扱い、インターネットコミュニケーションの留意点、パスワード管理など
2	基本的な表計算ソフトの活用(1)	TAB、SHIFT、ENTER、CTRLキーの活用、セルの書式設定、オートフィルなど 一年次に行った内容を復習していることが望ましい
3	基本的な表計算ソフトの活用(2)	オートサム、罫線、基本的な計算、AVERAGE関数、MAX関数、MIN関数など
4	表計算ソフトを用いた実務(1)	検定問題から実務を想定した表計算ソフトでの事務処理
5	表計算ソフトを用いた実務(2)	検定問題から実務を想定した表計算ソフトでの事務処理 テキスト(Excel)の内容(1P~15P)を予習しておくことが望ましい
6	プレゼンテーションとPowerPoint	プレゼンテーション技術に関する基本的概要と、それに適したPowerPointの使い方
7	基本的な文章処理ソフトの活用	配置と基準、均等割り付け、網かけ、囲み線、下線、フォント、色分けなど 一年次に行った内容を復習していることが望ましい
8	ビジネス文章作成(1)	受信者名、発信者名、発信日付、などの体裁の整え方 表の作成、表の網かけ、セルの結合など表を用いたビジネス文章作成
9	ビジネス文章作成(2)	切り取り線などを用いた高度なビジネス文章作成 テキスト(Word)の内容を予習しておくことが望ましい
10	文章処理ソフトを用いた実務	検定問題から実務を想定した文章処理ソフトでの事務処理 テキスト(Word)の内容を予習、復習しておくことが望ましい
11	順位付けと判断文	RANK関数、IF関数、並び替え、表示形式の変更など excel基本問題(授業内配布)を復習していることが望ましい
12	端数処理と判断文	ROUND関数、ROUNDUP関数、ROUNDDOWN関数、複数のIF関数
13	データ分析と表検索	実際のデータベースの概念、VLOOKUP関数
14	論理関数	AND関数、OR関数
15	総復習	表計算ソフト、文章処理ソフトの処理速度と理解度を測る小テスト 授業内で課題と作成したファイルを確認しておくことが望ましい

《テキスト》

日本語ワープロ検定試験模擬問題集 日本情報処理検定協会、
情報処理技能検定試験表計算模擬問題集日本情報処理検定協会

《参考図書》

情報倫理ハンドブック noa出版

《授業時間外学習》

処理速度向上のためタイピング練習や授業中の内容を復習することが望ましい。

《課題に対するフィードバック等》

課題(試験やレポート等)に対する学生へのフィードバックを行う。

《教養科目》

科目名	情報社会と経営				
担当者氏名	大野 満奈				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力					

《授業の概要》

ITの発展と相まって、多種多様な新型金融商品の登場、企業間競争の激化、および基幹産業の規制緩和等を背景として、経営環境が著しく変化を遂げているなか、経営者は、不確実性のもと意思決定に有用な情報を、そして、企業外部の一般投資家は企業とのコミュニケーションに主体的に参加すべく財務情報のディスクロージャーを要求する。ここではそのような情報社会における経営の仕組みと現状を学ぶ。

《授業の到達目標》

情報と意思決定の関係についての理解を深め、社会の成員として活動するうえで必要とされる日本の経営に関する基礎的仕組みと用語を説明できる。

《成績評価の方法》

レポート(40%)、プレゼンテーション(50%)、ノート提出(10%)、総合評価60点以上を合格とする。

《テキスト》

授業中に配付するレジメをテキストとして使用する。

《参考図書》

三橋規宏他著「ゼミナル日本経済入門」日本経済新聞社
渡辺裕巨他編著「新検定簿記ワークブック 3級」中央出版社

《授業時間外学習》

講義のテーマに基づいた時事問題については特に注目し、日々の社会の動きを理解するように心掛けること。次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。

《課題に対するフィードバック等》

提出されたレポートやプレゼンテーションにコメントしフィードバックする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	日本的経営の特徴	終身雇用、年功序列型賃金、労使関係、企業間の系列関係、 我国企業経営の現状 【時間外学習】日本的経営を下調べしておくこと
2	企業の資金調達	企業の資金調達の仕組み・他人資本・自己資本・資金の具体的運用形態 【時間外学習】企業の資金調達の仕組みを下調べしておくこと
3	高度情報通信社会と経営	インターネットの普及と社会変化・IT革命以降の企業の雇用形態 【時間外学習】IT革命を下調べしておくこと
4	ディスクロージャー制度	企業の情報開示とその手段・財務諸表の種類と見方 【時間外学習】財務諸表を下調べしておくこと
5	企業会計情報システム	複式簿記と会計情報システム・補助簿の作成 【時間外学習】複式簿記を下調べしておくこと
6	日本企業の歩み(1) 戦後～高度成長期	経済復興期、高度成長期 【時間外学習】経済復興期を下調べしておくこと
7	日本企業の歩み(2) バブル期を中心に	低成長期、バブル経済、長期不況、21世紀の企業経営 【時間外学習】バブル経済を下調べしておくこと
8	時事問題を考える	時事問題に関するプレゼンテーション・ディスカッション(グループ討議) 【時間外学習】時事問題に関するプレゼンテーションの原稿を作成しておくこと
9	*	*
10	*	*
11	*	*
12	*	*
13	*	*
14	*	*
15	*	*

《教養科目》

科目名	倫理学				
担当者氏名	浜田 郷史				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		1-1 教養 2-2 知識・技能 4-4 態度・志向性			

《授業の概要》

倫理学は、皆さんがよりよく生きるために役立つ哲学の実践部門です。よりよく生きるために、たとえば、なされた悪に対して報復せずゆるすべきか、転売行為は非難されるべきか、なぜ誰も見ていないところで道徳的に振る舞ったほうがよいのか、などを考えてみましょう。今期は、「正義」「人生」「仕事」「ケア」「悪」「共感」「不幸」などについて、講義と「哲学対話」を行います。

《授業の到達目標》

(1) 倫理学の基礎知識を説明できる。(2) 自分の倫理観を知り、他者の倫理観にも関心を向けることができる。(3) 倫理的葛藤に際して、根拠のある意志決定ができる。

《成績評価の方法》

全体で100%（総点100点）とし、「定期試験における筆記試験60%」、「授業への関心・意欲・態度40%」の割合で評価し、総合評価60点以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	「倫理学」とは何だろう？ 「哲学対話」のやり方を通じて、普遍化テストを学ぶ。[復習]倫理的な言葉づかいを意識しながら人と会話する。
2	不幸論・共感論	苦しみたくないが、苦しんでいる友には寄り添いたい。「不幸」と「共感」について考える。[予習/復習]不幸に対する考え方は変わるだろうか。
3	正義論・正義の分類	正義は必要か？ 「正義」の基本的な意味を分析し、身近な例に当てはめる。[復習]講師が提示する諸権利に対応する義務の正当性を述べる。
4	正義と共感	「正義」と「共感」の葛藤を知り、使いこなせるようにする。[復習]講師が提示するいくつかの倫理的ジレンマを解く。
5	悪の倫理学	「悪」と「ゆるし」についての哲学・文学をいくつか紹介したのち、究極的な悪について意見を交換する。[予習/復習]最大の悪とは何か？ 考え方は変わるだろうか。
6	ケアの倫理学	「ケア」について、倫理的に何が問題になっているのかを知り、配慮できるようにする。[復習]ケアを行う際の注意点についてまとめる。
7	買い物倫理学	倫理的に「よい仕事」像について、日常生活をもとに討議する。[予習/復習]「よい仕事」の条件を考え、まとめる。テスト対策。
8	いのちの倫理学/試験	これまでの学習成果をふまえて、私たちの「いのち」の繋がりについて考察する。後半は筆記試験。
9	-	-
10	-	-
11	-	-
12	-	-
13	-	-
14	-	-
15	-	-

《テキスト》

テキストは特に定めませんが、毎回プリントを配布する。

《参考図書》

平尾昌宏『ふだんづかいの倫理学』、晶文社、2019年。

《授業時間外学習》

授業後は配付資料等をもとに要点を復習しておく。対話の前には、テーマについて考えておくことが望ましい。

《課題に対するフィードバック等》

授業の最後に質問を受ける。次の授業で全体で解説してフィードバックする。

《教養科目》

科目名	地球と環境				
担当者氏名	落合 啓志				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		1-1 教養 2-2 知識・技能			

《授業の概要》

身近なところや日本、世界で起こっている環境問題と自分たちとの関係について、具体的な事例をもとにグループ討議や発表を通して学ぶ。

《テキスト》

なし

《参考図書》

なし、必要に応じて授業の中で紹介する。

《授業の到達目標》

主な環境問題の現状とその問題点および要因等について説明できる。

《授業時間外学習》

授業前に配布された資料は事前によく読んでおくこと。また、授業で配布されたプリントは復習を十分に行うこと。

《成績評価の方法》

筆記試験（20%）、毎回の授業のまとめのポートフォリオ作成提出（80%）を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

提出されたポートフォリオは内容を確認し、コメントを付してフィードバックします。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	アライグマから考える環境問題	アライグマは動物園だけにいるのでしょうか。アライグマ問題からいろいろなことが見えてきます。
2	パンダから考える環境問題	パンダは人気者ですが、パンダからいろいろなことが見えてきます。
3	レジ袋から考える環境問題	たかがレジ袋だが、されどレジ袋。レジ袋からいろいろなことが見えてきます。
4	地球温暖化から考える環境問題	いま話題の地球温暖化問題をいろいろな角度から考えてみましょう。いままで気づかなかったことが見えてきます。
5	太陽光発電から考える環境問題	エコといわれている太陽光発電や自然エネルギーからいろいろなことが見えてきます。
6	水から考える環境問題	蛇口をひねると当たり前のように出てくる水ですが、水からいろいろなことが見えてきます。
7	環境問題のこれまでとこれから	過去の環境問題を振り返り、これからの環境問題への取組方やSDGs実現に向けて必要なことを考えてみましょう。
8	埼玉県的环境問題&試験	埼玉県ならではの環境問題ってあるのでしょうか。第1回～第8回は、世の中の動きや受講者の学習状況によって一部変更もあります。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

《教養科目》

科目名	英語				
担当者氏名	江川 澄男				
授業方法	演習	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-1 教養 2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

視聴覚機器を用いたアクティブ・ラーニングを行い

- 海外旅行英会話の向上：動画でのListening, Oral Drill
- 英語表現力の向上：Power PointでのChat, Q&A Practice
- Listening力の向上：動画によるStoryを踏まえたListening
- プレゼン能力の向上：Power Pointを用いたSkit作成、英作文や資料の作成、発表
- 英語力の向上：教師作成Textの内容確認, 音読, Shadowing

《授業の到達目標》

- 動画を用いた基本的な場面での表現練習を行い、海外での実践的な英会話力が高められる。
- 英会話に不可欠な理論・表現練習・実演を行い、Chat(お喋り)やDiscussion(議論)ができる。
- Power PointやInternetの翻訳機能を用いた英作や表現練習で、プレゼン能力が高められる。
- Textの理解・音読・Shadowingで、英語力が高められる。

《成績評価の方法》

- 英会話(20点) (2)言語機能による表現練習(10点)
- パワーポイントによる英作文(20点)
- 教師作成Textの音読(10点)
- 「表現力豊かな英会話(言語機能編)」の取組み(20点)
- 「表現力豊かな英会話(Drill編)」の取組み(20点)

《テキスト》

- 「教師作成のText」
- 「表現力豊かな英会話(言語機能編)」
- 「表現力豊かな英会話(Drill編)」

《参考図書》

- 「速読速聴・英単語Daily1500 ver.3」松本 茂 監修
- 「英検2級合格セミナー」旺文社 赤尾文夫

《授業時間外学習》

- 教師作成Textの内容を理解し、音源を何度も聴いて音読できるようにする。
- Internetの翻訳機能を有効的に活用し、正しい英文を書けるようにする。
- 日頃からPower PointやInternetの翻訳機能を活用し、正しい英文が作れるようにする。

《課題に対するフィードバック等》

授業中の英会話や音声練習は、必ず文字(プリント)で確認し、確かな英語力の向上を図る。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	英会話 Unit 1: Daily life	オリエンテーション、授業体験、英会話(自己紹介)、Quiz、Unit 1の音読(時間外学習)Unit 1の音読、Quiz作成
2	英会話 Unit 2: Self	英会話(Q&A Practice)、Power PointやInternet翻訳機能の活用(時間外学習)Unit 2の音読、Quiz作成
3	英会話 Unit 3: Travel	英会話(Q&A Practice)、Power PointやInternet翻訳機能の活用(時間外学習)Unit 3の音読、Power Point用いたQuiz作成
4	Skit Unit 4: Shopping	英会話(Q&A Practice)、Power Pointを用いたSkit作成、Text音読(時間外学習)Unit 4の理解、Power Point用いた Quiz作成
5	Skit Unit 5: Food/Cooking	英会話(海外旅行英会話)、Skitの発表、Unit 5のShadowing(時間外学習)Unit 5の音読、Power Point用いたSkit作成
6	Skit Unit 6: Sports	英会話(海外旅行英会話)、Skitの発表、Unit 6のShadowing(時間外学習)Unit 6の音読、Power Point用いたSkit作成
7	Presentation Unit 7: Health, Healing	英会話(海外旅行英会話)、Skitの発表、Unit 7のShadowing(時間外学習)Unit 7の音読、Power Point用いたSkit作成
8	Presentation Unit 8: Music/Art	英会話(Quiz+Q&A)、Presentation(自己紹介)、Unit 8のShadowingや意見交換(時間外学習)Unit 8の音読、Power Point用いた自己紹介の作成
9	Presentation Unit 9: Books	英会話(Chat+Q&A)、Presentation(家族紹介)、Unit 9のShadowingやQ&A(時間外学習)Unit 9の音読、Power Point用いた家族紹介の作成
10	Presentation Unit 9: Entertainment	英会話(英文日記+Q&A)、Presentation(人物紹介)、Unit 9のShadowingやQ&A(時間外学習)Unit 9の音読、Power Point用いた人物紹介の作成
11	Presentation Unit 10: Science	英会話(Story+Q&A)、Presentation(故郷紹介)、Unit 10の音読とShadowing(時間外学習)Unit 10の音読、Power Point用いた故郷紹介の作成
12	Presentation Unit 10: Science	英会話(News+Q&A)、Presentation(日本文化の紹介)、Unit 10のShadowing(時間外学習)Unit 10の音読、Presentation(日本文化)の準備
13	Discussion Unit 11: Social Act	英会話(News+Q&A)、Presentation(日本文化)、Unit 11の音読とShadowing(時間外学習)Unit 11の音読、Presentation(日本文化)の準備
14	Discussion Unit 11: Social Act	英会話(Discussion)、Presentation(日本文化)、Unit 11のShadowing(時間外学習)Unit 11の音読、Presentation(日本文化)の準備
15	Discussion 総復習	英会話(Discussion)、Textの内容確認(時間外学習) Textの総復習と疑問点の明確化